

更なる飛躍に向けた 今年のいち押し事業



1 人口減少社会への対応 「まち・ひと・しごと創生」

- (1)安定した雇用創出
- (2)新しいひとの流れを作る
- (3)若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
- (4)時代にあった地域づくり、安心な暮らし、地域と地域の連携
- (5)消費喚起・生活支援

2 震災からの復興事業

3 放射能対策

- (1)放射線情報の把握と情報発信による安全の確立
- (2)安全を安心につなげる信頼の醸成
- (3)絆を強め新たな産業力の創出

1 人口減少社会への対応「まち・ひと・しごと創生」

1-1 安定した雇用創出

企業誘致推進事業

●「伊達市で働きたい」を支援します

担当課 商工観光課

7,518万円

【目 的】

伊達市内における産業振興や雇用拡大による定住人口の増加など、地域経済の活性化を図るため、企業誘致活動を推進します。

【前年実績】

保原工業団地内工場跡地に1社進出

【実施内容】

市内への企業誘致を推進するため、各種会議やセミナー等へ出席するとともに次のような事業を行います。

- 企業誘致トップセールス
- 立地企業リサーチ事業（需要調査）
- 新工業団地開発基本計画策定

「新工業団地開発基本構想」で示された内容に基づき、計画内容の規模・体系・パターン・配置を設定し、計画地を形態的に検討します。

- 雇用促進奨励金交付

伊達市内に新規に立地した企業及び設備投資をした企業に対して、地元雇用者を1年以上継続して雇用した場合に一人につき50万円を補助します。



財源（万円）	市の負担	その他
	7,512	6



働く女性応援事業

●社会で活躍したい女性を応援します

担当課 商工観光課

3,894万円

【目 的】

女性のワークバランスに配慮した雇用支援や受け入れ企業の環境改善の指導を行いながら、女性が働きやすい環境をつくり、子育て世代の定住定着を図ります。

【実施内容】

- 結婚、出産などによる離職から再就職を希望する女性求職者に対して、就業のための知識・技術の習得のための講座、事業所への実習派遣（最長6か月）
- 働きたい女性、働きたい職種についてのリサーチ
- 雇用企業の職場環境の改善や企業力向上のための人材育成と指導



財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,017	2,877

農業後継者育成支援事業

● 地域農業の問題解決と青年就農者を支援します

担当課 農政課

903 万円

【目 的】

- 地域農業が抱える人と農地の問題を解決するための「人・農地プラン」を地域の方とともに作成します。
- 経営を開始して間もない青年就農者に所得を確保するための青年就農給付金を支給します。

【実施内容】

- 地域ごとに座談会を開催し「人・農地プラン」を作成します。
プランに位置付けられた担い手への農地集積も進めます。
- 人・農地プランに位置付けられた、又は農地中間管理機構から農地を借り入れた 45 歳以下の青年就農者等に、年間 150 万円を最大で 5 年間給付します。

【前年実績】

- 人・農地プラン：2 地区において取組み中。
- 青年就農給付金：5 名が給付金を受給。



財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	3	900

中心市街地活性化コミュニティ活動事業

● 買い物したくなる街を支援します

担当課 商工観光課

2,089 万円

【目 的】

中心市街地での交流の場としてのコミュニティスペースの創出を支援します。また、空き店舗を有効活用することで、賑わいの創出、中心市街地の活性化を図るため新たに出店する人へ支援します。

【実施内容】

- 中心市街地の交流の場の運営費を支援します。また、市街地に増えている空き店舗に新規入居者・起業者を誘導し、空き店舗等の有効活用を図るため、賃借費用・改装費を支援します。
- 家賃補助
上限 20 万円／月（1 年目新規創業者 自己負担 1/3）
- 改修補助
上限 160 万円／月（自己負担 1/3）

【前年実績】

- 交流の場（保原町まわらん処） 894 千円補助
- 改修補助 773 千円補助



財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,489	600



猪革プロジェクト事業

● イノシシの革を地域振興に活かします

担当課 農政課

3,087 万円

【目 的】

年間一千頭が捕獲されているイノシシの皮を活用し、商品開発や販売を行うことで、地域資源のブランド化と地域雇用の創出を目指します。

【実施内容】

- 革製品作業所の設置
- 革製品化の技術の向上と担い手育成
- 商品開発、販路開拓
- ＊農林業振興公社に事業補助



イノシシ革製品のサンプル

財源（万円）	国・県の負担
	3,087

1-2 新しいひとの流れを作る

道の駅建設事業

● 相馬福島道路の整備にあわせ、『道の駅』を開設する準備を進めます

担当課 管理課

6,948 万円

【目 的】

「道の駅」は、本市の魅力と地域資源をアピールする場、市民の地域交流の場、災害に備えた救援活動の場としても重要な機能をもつものです。

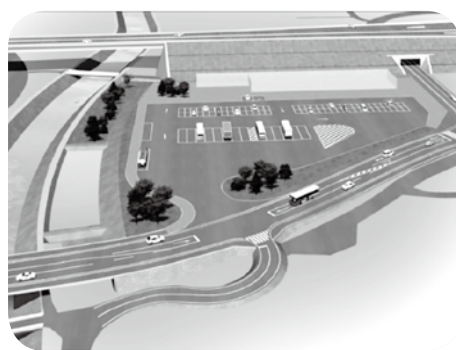
「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」をもった施設を整備し、本市の魅力発信と地域活性化を図るとともに、防災及び災害時の支援活動の拠点として活用するため整備します。

【実施内容】

- 建築及び土木工事の詳細設計と造成工事に着手します。
- 場所 霊山町下小国地内
- オープン予定 平成 29 年度

【前年実績】

道の駅の建築基本設計と用地取得、地質調査をしました。



道の駅イメージ図

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	起債
	1,071	627	5,250



霊山高原構想事業「りょうぜん 絆、紡ぐ高原」

特
集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

● 世代交流、と心のふるさと、となる高原づくりを目指します

担当課 霊山総合支所

3,300万円

【目 的】

国指定史跡名勝「霊山」などの豊かな森林資源に恵まれた霊山高原における広域交流と地域活性化についての調査・検討を踏まえ、世代交流、と心のふるさと、となる高原づくりを目指します。

【実施内容】

平成 27 年度については、高原づくりのスタートアップとして、霊山こどもの村エリアを中心とした「青少年の健全育成」に取り組みます。

○「生きる力」を学ぶ拠点整備基本設計「こどもの本のミュージアム（仮）」等



秀峰「霊山」

財源（万円）	市の負担
	3,300



伊達田園回帰支援事業

● 農業体験ツアーを通して新規就農や農村活性化につなげます

担当課 農政課

230万円

【目 的】

急激な少子高齢化により人口減少が進み、特に中山間地域では空き家や耕作放棄地等が増加しています。田舎暮らしや農業体験を希望する都市住民も多いことから、田舎暮らしや就農支援を行い定住・交流人口の増加につなげます。

【実施内容】

伊達市の自然、文化、伝統食、農業体験等の田舎体験ツアーを開催します。



農業体験ツアーの風景

財源（万円）	国・県の負担
	230

観光誘客促進事業

● おもてなし事業

担当課 商工観光課

894 万円

【目 的】

伊達氏ゆかりの公園（政宗にぎわい広場）のオープン
を契機に、伊達市の観光物産を幅広く P R するため
におもてなしの活動を実施します。

【実施内容】

＝おもてなし事業＝

- ①伊達氏ゆかりの公園（政宗にぎわい広場）オープン
セレモニー
伊達市おもてなし隊「伊達政宗と愛姫」が伊達市の
観光 P R を実施します。
- ②首都圏・仙台圏へ駅貼りポスター事業
伊達市外へ観光 P R を実施します。
- ③観光案内看板設置
- ④6次化&伊達セレクション事業
地場産品を活かした食の開拓を進め、誘客につなげ
ます。



伊達市おもてなし隊（伊達政宗と愛姫）

財源（万円）	市の負担
	894

伊達氏ゆかりの史跡整備事業

● 伊達氏の歴史を発信し、誘客を進めます

担当課 商工観光課

9,895 万円

【目 的】

伊達氏発祥の地である伊達氏の歴史「伊達物語」に
出会い、ふるさとに誇りと愛着をもって後世に伝えら
れるよう、伊達氏ゆかりの史跡である梁川八幡神社の
周辺整備を進めます。

【実施内容】

＝梁川八幡神社周辺整備事業＝

- ①伊達氏ゆかりの公園（政宗にぎわい広場）と散策路
の一部をオープンします。
- ②（仮称）飛翔の広場の整備と散策路の延長整備をし
ます。
- ③（仮称）出会いの広場と散策路の延長整備をするた
めに測量設計を実施します。



財源（万円）	市の負担	起債
	495	9,400



ふるさとティーチャリングプロジェクト事業

特
集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

● 首都圏の若者の第二のふるさとづくりを進めます

担当課 総合政策課

978 万円

【目 的】

中山間地域の小学校区で、首都圏の大学生に寺子屋の講師となってもらい、子どもたちの学習支援やふれあいを通して、大学生に本市を知ってもらい「第二のふるさと」づくりを推進します。

【実施内容】

- ①寺子屋ティーチャリングツアーの開催
- ②首都圏・市内での報告会・マルシェ等への出展
- ③ホームページ、SNSサイトの開設
- ④伊達市内での大学生の拠点づくり（空き家等でのシェアハウス）



寺子屋のイメージ

財源（万円）	国・県の負担
	978

空き家対策事業

● 「空き家」の外観調査をはじめます

担当課 市民協働課

895 万円

【目 的】

空き家を活用して交流人口の拡大及び定住促進による地域の活性化を図るため、空き家調査を実施します。

【実施内容】

- 調査対象空き家
 - 個人が居住を目的として建築し、現在居住・活用していない建物
- 調査項目
 - 建物の状況
 - 敷地内の状況
 - 危険度

【前年実績】

空き家マップの作成 伊達市全域 680 件

財源（万円）	市の負担
	895

1-3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる



出産祝金支給事業

● 子どもは伊達市のたからもの。子宝家族の応援団

担当課 こども支援課

3,750 万円

【目 的】

少子化を抑える対策として、多子世帯の育児に対する経済的負担軽減を図ります。

【実施内容】

第3子からの子どもの出産に際し、出産祝金としてひとり 50 万円を支給します。

○対象児

平成 27 年 4 月 1 日以降に生まれ、市内に住民登録をした第3子以降の子ども

○受給対象者

- ①対象児が生まれた日の1年以上前から市内に居住している保護者
- ②市税の滞納がないこと
- ③対象児を含めて3人以上の児童（20歳未満）を養育していること



財源（万円）

市の負担
3,750



産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業

● 子育てママの「困った」に、ヘルパーを派遣します

担当課 こども支援課

582 万円

【目 的】

家事、育児に家族等の援助が受けられず、日常生活に支障が生じるときに、妊娠中から出産後3歳までの期間で育児の不安や家事の煩雑さを支援することで、安心して子どもを生み育てることができるしくみをつくれます。

【実施内容】

○ヘルパー派遣要件

- ①母子健康手帳の交付を受けている方
 - ②3歳未満児を養育されている方
 - ③家事、育児に家族等からの援助が受けられない方
- 自己負担なし（費用の全額を市が負担します）



財源（万円）

国・県の負担
582



こども体力低下対策事業（保原屋内プール整備事業）

特
集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

● 保原市民プールを屋内プールに改築整備します

担当課 総合政策課

7,151 万円

【目 的】

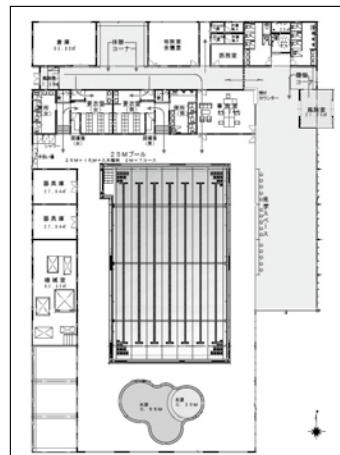
子どもたちの体力低下を防止するため、年間を通した運動機会を確保できる屋内プールを福島再生加速化交付金を活用して整備します。

【実施内容】

老朽化が著しい保原市民プールを解体し、屋内型の温水プールを整備するための敷地測量、地質調査、実施設計等を行います。

【整備内容】

- 屋内型温水プール（25m × 7 コース・幼児用プール）
- 建築面積約 2,000㎡
- 平成 29 年 4 月オープン予定



屋内プールの平面イメージ

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	3,749	3,402

だて婚活支援事業

● 新たな出会い、素敵な出会いを応援します

担当課 市民協働課

182 万円

【目 的】

市内の結婚を考えている独身男女に、出会いの機会を提供し、結婚を応援する事業です。

【実施内容】

男女が楽しくコミュニケーションを取れるようになるために、民間団体に補助金を交付して、その柔軟なアイデアを活かしたセミナーや婚活パーティー・婚活バスツアーを開催します。

【前年実績】

婚活イベント	9 回
参加者数約	240 名
成立カップル	14 組

【成 婚】

だてコン実行委員会の婚活イベントで、4 組のカップルがゴールイン。



バス婚 in 猪苗代 良縁スポット磐椅神社

財源（万円）	市の負担
	182

認定こども園整備事業



月舘認定こども園整備事業

● 月舘地域に子育て支援の拠点として認定子ども園を整備します

担当課 こども支援課

2,300万円

【目 的】

月舘地域に幼児教育・保育の充実と子育て支援の拠点機能を備える幼保連携型認定こども園を整備します。

【実施内容】

- 月舘幼稚園と、月舘保育園を統合し、「月舘認定こども園」を整備します。今年度は、月舘保育園の保育室などを改修する工事を行います。
- 平成 28 年 4 月に開園予定です。



財源（万円）

市の負担
2,300

伊達認定こども園整備事業

● 伊達地域に認定こども園を整備し、待機児童をなくします

担当課 こども支援課

1 億 4,160万円

【目 的】

伊達地域の待機児童の解消と子育て支援の拠点機能を拡充するため、幼保連携型認定こども園を整備します。

【実施内容】

- 伊達幼稚園と伊達保育園を統合し、伊達認定こども園（仮称）を民設民営により社会福祉法人「桑の実福祉会」が整備します。
- 今年度は、法人が建設予定地の造成工事等を行うための補助金を交付します。
- 平成 29 年 4 月開園予定です。



整備予定地

【前年度実績】

設置事業者を社会福祉法人「桑の実福祉会」と選定し、建設予定地の用地取得及び地質調査を行いました。

財源（万円）

市の負担
2,290

合併特例債
1 億 1,870



放課後児童健全育成事業

● 放課後児童クラブを開設しています

担当課 こども育成課

1 億 2,543 万円

【目 的】

保護者が仕事などで家庭にいない小学生を対象に、放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる場を提供します。

【実施内容】

市内 10 ヶ所で公立の児童クラブを開設しています。「やながわ放課後児童クラブ館」は新築され、平成 27 年 3 月から新しい場所で開設しています。また、「ふしぐろ児童クラブ」は、平成 27 年 4 月から伊達東小学校の余裕教室で開設しています。

平成 27 年度は、専門的な知識を有する民間業者へ子ども達が快適に放課後を過ごせるプログラムの実践を委託して運営を展開します。また、伊達・保原エリアと梁川・霊山・月舘エリアに分け、それぞれに放課後児童コーディネーターを配置し、指導員への指導・教育にあたります。

本来保護者に負担いただく保育料のうち、伊達市が年間 4,400 万円程度負担しているため、月額 3,000 円

の保育料で利用することができます。

【前年実績】

1 年生から 6 年生 2,987 人（柱沢小学校を除く）のうち 542 人が登録（全児童の 18.1%が登録）



新築された「やながわ放課後児童クラブ館」

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	その他
	6,780	3,830	1,933

こども遊び場整備事業

● 親子で楽しむ憩いの場を提供します

担当課 こども支援課

4,698 万円

【目 的】

外で遊ぶ機会が少なくなった子どもたちのために、市内 3 か所に屋内遊び場を整備しましたので、子どもの体力向上と子育て家庭の支援に配慮した施設運営に努めます。

【内 容】

市内 3 か所の遊び場

○ちびっこ広場（霊山地域）

○スマイルパークほばら（保原地域）

○梁川屋内屋外運動場（梁川地域）

子どもたちが楽しく遊べる施設運営と安全安心のための施設維持管理を行います。



財源（万円）	市の負担	県の負担
	1,791	2,907

1-4 時代にあった地域づくり、安心な暮らし、地域と地域の連携



伊達市総合戦略策定事業

● 人口の将来展望をもとに、今後の戦略を検討します

担当課 総合政策課

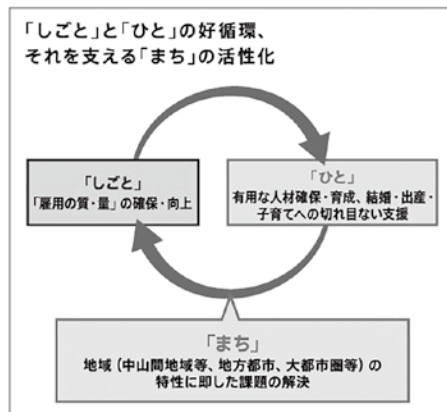
1,354 万円

【目 的】

急速に進む少子高齢化による人口減少に歯止めをかけるために、国が策定した「長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと総合戦略」に対応し、市においても人口動向を分析し、人口の将来展望を示す「人口ビジョン」と、今後5か年の目標や施策などを盛り込んだ「伊達市総合戦略」を策定します。

【実施内容】

- 人口ビジョンの策定
- 伊達市総合戦略の策定
- 有識者会議の開催



財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	354	1,000



地域自治組織推進事業

● みなさんと地域の課題をいっしょに考えます

担当課 市民協働課

5,667 万円

【目 的】

地域コミュニティを構成する多様な主体が、責任と役割を認識し、自助・共助を適切に組み合わせ相互の連携と協力により協働のまちづくりを推進します。

【実施内容】

- 地域自治についての学習や意見交換など、地域自治組織設立までの支援。
- 地域自治組織の課題解決に向けた、新たな事業に対する支援。



地域自治組織検討委員会のようす

【支援内容】

- 地域自治組織設立支援交付金
- 地域自治組織活動支援交付金

財源（万円）	市の負担
	5,667



健幸都市推進事業

特
集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

● 健幸都市の推進にむけてさらに取り組みを進めます

担当課 健幸都市づくり課

2,480 万円

【目 的】

急激な少子高齢、人口減少が進む中、高齢になっても地域で安心して暮らせ、市民誰もが健康で幸せに暮らすため、一人ひとりが健康を意識し、健康を基軸としたまちづくり「健幸都市(スマートウエルネスシティ)」の推進を図ります。

【実施内容】

○健幸都市の全市展開に向けた取り組み

モデル地区での成果や地域特性を活かした歩くしかけ事業など、全市展開を目指した健幸都市の推進を図ります。

歩きたくなるレシピ集の発行や各地域の歩く拠点に書き込み型のマップを設置するなど、市民参加型で、自然と歩きたくなるまちづくりの取り組みを進めます。

○健幸都市モデル地区での取り組み

モデル地区(掛田地区、白根地区)における主体的な活動への支援を行います。また、モデル地区での取り組みの成果を踏まえ、他地区への健幸都市づくりの事業を展開します。

○スマートウエルネスシティ総合特区の取り組み

全国6市が連携した健幸ポイント事業を継続実施し、健康づくりで地域を元気にする仕組みを目指します。

また、健康に関するデータ(特定健診、医療レセプト、介護レセプト等)の分析により、健康課題に応じた施策を立案し、効果の出せる施策展開を図ります。



歩きたくなるまちづくりワークショップを通して、市民方々と歩きたくなるまちづくりを一緒に考えました。



健幸都市のPRや体組成データを測定し、筋肉率や体脂肪率など、からだチェックをしました。



市内商店街の協力を得ながら、健幸ポイント事業を実施しています。



健幸ポイントキャラクター「ウィンピー」

財源(万円)	市の負担
	2,480



健幸都市歩きたくなる公園整備事業

●「歩きたくなる公園」を目指し、歩きたくなる仕掛けを設置します

担当課 都市整備課

1,166 万円

【目 的】

少子高齢化社会、人口減少社会が進む中、市民が健康で幸せな生活を送るため、健康を基軸とした健幸都市の実現に向けて「歩きたくなる公園」を整備します。

【実施内容】

「歩きたくなる公園」を目指し、歩く仕掛けとして、身近なウォーキングコースにある既存公園で、気楽に楽しみながら健康づくりが行えるように、梁川地域・月舘地域の既存公園に健康器具を設置します。



設置予定の健康器具

財源（万円）	市の負担
	1,166

健幸都市白根地区モデル事業

● 白根地区の資源を活用し、「白根力」を創り上げます

担当課 健幸都市づくり課

235 万円

【目 的】

白根地区健幸都市推進協議会が展開する事業を支援し、地区の地域資源を活かした健幸なまちづくりの推進を図ります。

【実施内容】

健幸なまちづくりへの理解を深めるため、健幸都市の啓発、地域の健康問題解決に向けた集会所を活用した健康づくり事業を取り組みます。

高齢者から子どもまで幅広い世代が参加するイベントなど、健幸なまちづくりに向け、地域住民が主体となって取り組む事業へ支援します。



健幸スキー教室を開催し、世代間交流を図りながら、健康づくり、体力づくりをしました。

財源（万円）	市の負担
	235

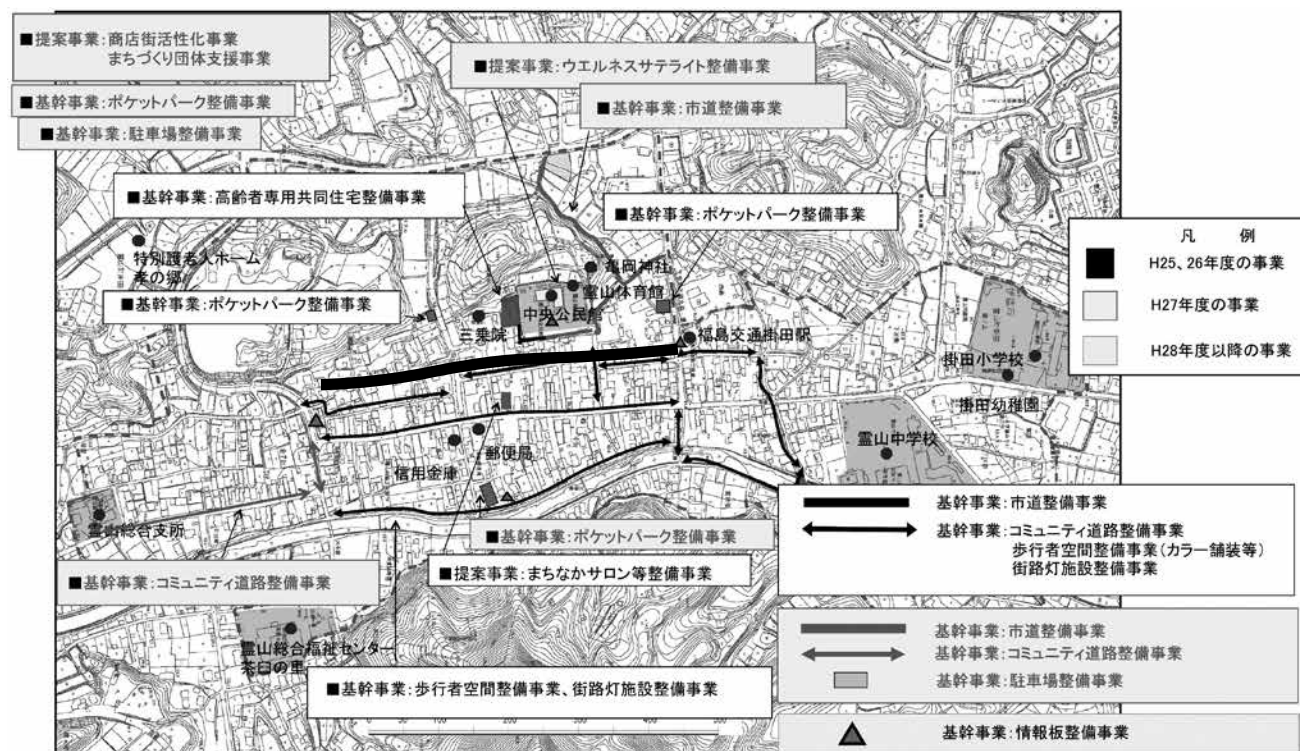
健幸都市掛田地区モデル事業

●「歩きたくなる健幸のまち・掛田」を目指します。

市民一人ひとりが健康で幸せな生活を送ることができる「健幸都市」の実現のため、市街地モデル「霊山町掛田地区」において、地区住民と協働してソフト・ハード両面での事業を実施し、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

- | | | |
|--------|-------------|------------|
| ①市道整備 | ②コミュニティ道路整備 | ③ポケットパーク整備 |
| ④駐車場整備 | ⑤都市再生整備計画 | ⑥霊山中央交流館改修 |

【掛田モデル地区整備地図】



掛田地区道路整備事業

担当課 土木課

9,540万円

【目 的】

安心して歩くことができる道路を整備することにより、住民の健康意識及びまちづくりへの意欲を創出し、霊山町掛田地区の道路整備をモデルとして行う。

【実施内容】

○市道整備

道路改良工事のほか、歩行者の歩行空間を確保するため、道路端部をカラー舗装し、安心して歩くことができる道路整備を行う。

市道整備延長 = 280 m

○コミュニティ道路整備

歩行者を優先する区域のカラー舗装及び立体路面表示により、車両の走行速度を抑制し、歩行者が歩きやすい道路整備計画を行う。

コミュニティ道路整備延長 = 430 m



平成 25 年度工事施工箇所
(カラー舗装)

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担	起債
	294	3,816	5,430

掛田地区ポケットパーク・駐車場整備事業

担当課 都市整備課

2,317万円

【目的】

市民が気軽に外出し、健康的にいきがいを持った生活を営むための動機づけ、日常の買い物及び各種イベント等の利用を目的にポケットパーク及び駐車場を国の都市再生整備計画交付金を活用し整備します。

【実施内容】

- ポケットパーク
東屋、水飲み場、健康運動器具（ストレッチ）、照明等
- 駐車場
駐車場整備のための測量設計及び用地の取得

【前年実績】

- 霊山町掛田字西裏地内ポケットパーク整備事業
整備面積 約 300㎡
整備施設 東屋、1棟 健康器具、2基
水飲み、1基



平成 25 年度に完成した
霊山町掛田字岡地内のポケットパーク

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	起債
	79	928	1,310

健幸都市都市再生整備計画提案事業

● 地元商店街の魅力を発信します

担当課 商工観光課

500万円

【目的】

健幸都市モデル地区の霊山町掛田地区を中心に、歩いて健康になるためのまちづくりに向けた事業を推進します。

【実施内容】

商店街に人を呼び込むために実施する地域資源を活用した「伊達マルシェ〜かけだ・まちなか市〜」などのイベント事業を支援します。

【前年実績】

- 事業補助金
 - 伊達マルシェ実行委員会…400万円
 - 霊商スタンプ会、NPO りょうぜんを楽しもう会…100万円
- 健康に関するウォークイベント等



財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	300	200

霊山中央交流館改修事業

担当課 霊山総合支所

6,666万円

【目的】

霊山中央交流館を掛田地区の「健幸づくりの拠点」とするため、施設の改修を行います。

【実施内容】

- 1階和室を洋室に改修します
- 全館を下足のまま利用できるように改修します。

【前年実績】

一部改修工事を実施するため設計を行いました。



霊山中央交流館

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	起債
	1,118	2,288	3,260



健康運動習慣化支援事業

特
集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

● 身近な集会所で、元気づくり運動を行います

担当課 健幸都市づくり課

7,491 万円

【目 的】

生活習慣病の予防・健康増進・介護予防のために、健康運動教室やウォーキング等と元気づくり会を実施します。

②健康運動教室：実施回数 3,632 回

参加者延人数 27,119 人（平成 27 年 2 月末現在）

③いきいきウォーキング：実施回数 55 回

参加者延人数 1,017 人（平成 27 年 3 月末現在）

【実施内容】

- ①元気づくり会：地区集会所を会場とし、元気づくり体験で、市民自らが楽しみながら継続していきます。
- ②健康運動教室：40 歳以上を対象に、個別プログラムによりストレッチ・筋力トレーニング・有酸素運動を行い、歩数や体組成のデータをパソコンで確認できます。教室は日中コースと夜間コースがあります。
- ③いきいきウォーキング：毎月各地区で定期的なウォーキングやイベントを実施します。



元気づくり会・ウォーキング

【前年実績】

①元気づくり会モデル事業

集会所コース：実施地区数 5 か所

参加者延人数 3,271 人

（平成 26 年 9 月～平成 27 年 2 月）

財源（万円）	市の負担	その他
	6,308	1,183

学校支援地域連携推進事業（スクールコミュニティ）

● 学校と地域をつなぐ活動をしています

担当課 教育総務課

1,019 万円

【目 的】

小学校に地域活動の拠点となるスクールコミュニティセンターを設置し、地域コーディネーターを配置することで、子どもを縁とした地域づくり、生涯学習を促進し、地域の教育力向上を図ります。

また、地域と学校の協働・地域連携・交流・学びを支える自主組織づくりを推進します。

【内 容】

保原小学校に加え、今年度からは梁川小学校で活動を実施します。また地区の学校でも同様の活動を推進します。

保原小学校での活動実例

- 地域サークル、OB によるコンサート等
- 運営スタッフ、地域ボランティアによる学校の美化活動
- 地域住民のゲストティーチャーによる授業
- 「子ども祭り」の実施



「子ども祭り」で地域の大人が子ども達に折紙を教える

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	705	314

1-5 消費喚起・生活支援

プレミアム商品券発行事業

● プレミアム付商品券「伊達^{ダブル}トク 20」で地域経済活性化

担当課 商工観光課

9,900 万円

【目 的】

交付金（地域消費喚起・生活支援型）を活用し地域消費の拡大、地域経済の活性化のためプレミアム付商品券を発行する。

【実施内容】

- 伊達市商工会広域連携協議会が事業主体となりプレミアム商品券を発行します。
- プレミアム商品券は、500 円券×12 枚綴りを 5,000 円で販売。（プレミアム率 20%）、発行枚数 86,000 セット。（発行総額 5 億 1,600 万円）
- 商品券は小規模店舗用とそれ以外の店舗等用に区分しセットとして発行。（割合 50%・50%）
- 商品券の利用期間は、8 月 1 日～12 月 31 日

【前年実績】

- 商工費で実施（プレミアム率は 10%）
（発行枚数総額 2 億 4,200 万円・44,000 セット）



財源（万円）	国・県の負担
	9,900



子育て家庭応援券交付事業（生活支援型）

● あなたの子育てをプレミアムに応援します

担当課 こども支援課

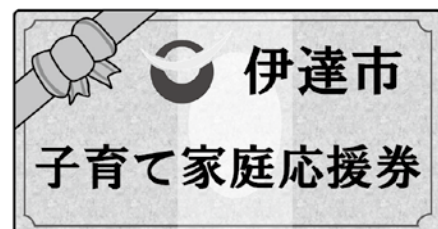
4,390 万円

【目 的】

子育て世帯に対し、子育てにかかる経済的負担を軽減するため、子育て家庭応援券を配付します。

【実施内容】

- 15 歳以下の子ども一人当たりプレミアム商品券 1 セット（6,000 円分・プレミアム商品券発行事業で発行するもの）を保護者に交付します。
- 交付要件
 - ①対象児は 15 歳以下（中学生まで）の児童。
 - ②平成 27 年 4 月 1 日現在、児童・保護者ともに市内に住民登録していること。
- 交付申請手続き
 - ①市から交付申請書を郵送します。
 - ②記載内容を確認して、返信用封筒でこども支援課へ提出
 - ③郵送された申請書を受理審査したのち交付決定通知書を同封して、応援券を郵送により交付します。



財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	193	4,197

2 震災からの復興事業



保原総合公園拡張整備事業

● 公園機能を拡充し、利便性を高めます

担当課 都市整備課

2億6,600万円

【目的】

市民に親しまれている保原総合公園の更なる利用拡大と伊達市民の健康の増進、青少年の健全育成や福祉の向上に資するため、総合的なスポーツ・レクリエーション拠点として、公園規模の拡大及び公園機能拡充整備を行います。

【実施内容】

駐車場の拡張、合宿所、イベント広場、阿武隈急行大泉駅とのアクセス等利便性の向上を図るため、新たに約6haの保原総合公園用地を取得します。

【年次計画】

平成28年度 実施設計、造成工事
平成29年度 造成工事完了



保原総合公園拡張整備予定地

財源（万円）	市の負担	起債
	1,330	2億5,270



農業振興支援事業

● あんぽ柿ブランドを継承し、生産量を回復します

担当課 農政課

5億9,150万円

【目的】

放射能の影響により出荷量が制限されているあんぽ柿のブランド力の回復を図り、産地を継承振興していくため、共同利用施設整備に係る費用を支援します。

【実施内容】

あんぽ柿の加工選別包装施設を整備する農業団体へ補助します。



財源（万円）	国・県の負担
	5億9,150

特集

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5



合併 10 周年記念事業

● 合併 10 周年に向けて新たな伊達市の飛躍に向けた取り組みをします

担当課 総務課

2,870 万円

【目 的】

平成 28 年 1 月 1 日に合併 10 周年を迎えることから、この節目を迎えるにあたり、市民の融和と一体感をより深めるとともに、更なる飛躍を目指す伊達市を市内外に強くアピールするため、記念式典及び記念事業を実施します。

【実施内容】

- 伊達市の歌
- 市民憲章の制定
- 合併 10 周年記念誌の発行
- キャッチフレーズ・シンボルマークの公募
- 健幸なまちづくりシンポジウム
- 新オラトリオ作成
- 友好（歴史）交流都市等の締結
- 記念花火等



5 周年記念式典

財源（万円）	市の負担
	2,870



上小国地区水道施設整備事業

● 安心できる水道を整備し、復興再生を促進します

担当課 施設工事課

4 億 1,593 万円

【目 的】

上小国地区の生活用水に関する放射能不安を解消し、避難されている方々の早期帰還および地域の復興再生を図るため、福島再生加速化交付金を活用し、水道施設整備を促進するものです。

【実施内容】

配水管布設工事

○霊山町上小国下地区

高強度ポリエチレン管φ 75 ～ 150mm L=5,000 m

加圧ポンプ 1 基

業務委託

○測量設計業務委託

平成 28 年度上小国上地区実施設計委託

L=3,500 m

【前年実績】

平成 26 年度工事

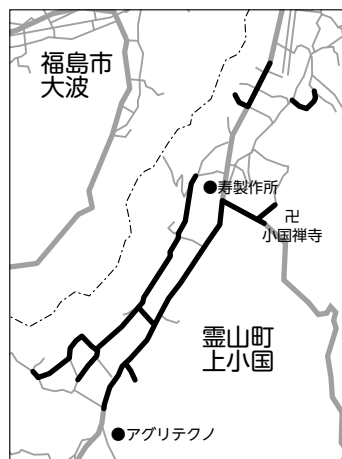
○小国ポンプ場築造工事

電気機械室 1 棟 受水槽 1 基 場内配管 1 式

○霊山町上小国下地区

配水管布設 HPPE 管φ 150mm L=710 m

送水管布設 HPPE 管φ 75mm L=340 m



財源（万円）	市の負担	国・県の負担	一般会計出資金
	3,893	2 億 5,133	1 億 2,567

3 放射能対策

3-1 放射線情報の把握と情報発信による安全の確立

環境放射線モニタリング事業

● 市内の放射線量を把握します

担当課 放射能対策課

1,910 万円

【目 的】

市内の放射線量を把握するため、環境放射線量のモニタリングを実施します。

環境放射線モニタリング市内 19 箇所の空間放射線量を毎日 H P に掲載。

町内会配布測定器の校正 1363 台

【実施内容】

一斉放射線測定マップの作成

市内 744 箇所の定点で一斉放射線量測定を年 2 回実施し、市内全域の線量状況がわかるカラーマップを作成します。

環境放射線モニタリング業務

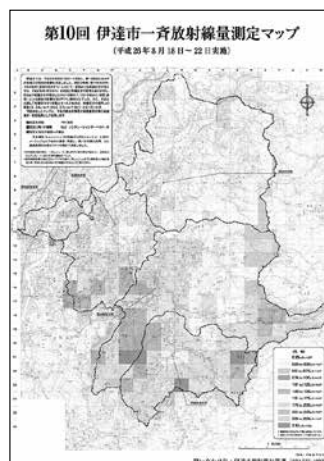
市内 19 箇所において環境放射線量を測定し、広報、H P 等で測定結果をお知らせします。

町内会に配布している測定器の年 1 回の誤差調整を実施します。

【前年実績】

一斉放射線測定マップ作成

8 月（第 10 回）と 3 月（第 11 回）に実施。



第 10 回 伊達市一斉放射線量測定マップ

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	825	1,085

特
集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

学校給食食材モニタリング調査事業

● 学校給食食材モニタリングを行い、安心安全な給食を提供します

担当課 学校給食センター

531 万円

【目 的】

小中学校の児童生徒、幼稚園児に提供する給食では安全な食材を使用しています。

念のため、給食がある日には食材等のモニタリング検査を行い、保護者の不安解消に努めます。

【実施内容】

○市内の 3 給食センターにおいて、学校給食で使用する食材と、出来上がった給食 1 食分をモニタリング検査し、基準値以下である事を確認します。

○モニタリング結果を、市のホームページで公表します。

【前年実績】

○検査業務委託、食材賄材料、検査機器の校正費を支出。毎日ホームページで結果公表しました。すべて基準値以下で安心・安全な給食を提供することができました。



財源（万円）	市の負担
	531



生活圏除染対策事業

● 安心の確保に向けて引き続き放射能対策に取り組めます

担当課 放射能対策課

10 億 2,696 万円

【目 的】

放射能による市民の健康被害の低減により、安心・安全な地域を目指し、放射能対策を行います。

【実施内容】

除染対策を引き続き実施するとともに、放射能相談センターにて市民からの放射能に関する相談対応を行います。また、除染に伴い発生した除去土壌等を保管するために設置した仮置場の適正な維持管理を実施するとともに可燃物を各仮置場から搬出し仮設焼却施設で減容化を行います。

【前年実績】

放射能相談センターによる放射能に関する相談、支援。200 件

「フォローアップ対策チーム」を編成し、放射能対策の個別対応。4900 件

仮置場の造成（大柳地区仮置場・堰本地区仮置場）

仮設焼却施設へ可燃物の搬出 坂ノ上地区仮置場から 317 袋



月舘地区布川5番組仮置場



坂ノ上地区搬出状況

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	794	10 億 1,902

農地等除染対策事業

● 安全な農作物の生産を支援し、更なる安心を消費者に届けます

担当課 農林整備課・農政課

3 億 3,583 万円

【目 的】

安全な農産物生産のための、農地等の除染と放射性物質吸収抑制対策等を行います。

【実施内容】

○ビニールハウス周りの除染。（農林整備課）

○山林ホダ場の除染に試験的な取り組み。（農林整備課）

○可燃除染廃棄物（稲藁、剪定枝、牧草等）を仮置場から仮設焼却場へ搬出。（農林整備課）

○水稻・大豆・牧草の放射性物質吸収抑制対策。（農政課）

【前年実績】

○ビニールハウス周りの放射線量モニタリング：60 棟

○放射性物質吸収抑制対策：水稻 1,300ha、大豆 28ha、牧草 2ha



ビニールハウス周りの放射線量モニタリング

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	156	3 億 3,427

市道除染対策事業

● 安心して生活できる地域環境のため市道除染を行います

担当課 土木課

1 億 6,100 万円

【目 的】

放射能による市民の不安を解消させ、安心して生活できる地域にするため、「伊達市除染実施計画」に基づき、Cエリア内の市道の除染を行います。

【実施内容】

Cエリア内生活圏を中心とした市道で、側溝に汚泥が堆積し排水不良になっている箇所の堆積物を除去し放射線量の低減を図ります。

除染実施地域：伊達、梁川、保原

除染実施延長：50 k m



市道側溝除染作業

【前年実績】

除染実施地域：伊達、梁川、保原

除染実地路線数：173 路線

除染実地延長：61.5 k m

財源（万円）	国・県の負担
	1 億 6,100

3-2 安全を安心につなげる信頼の醸成

避難者帰還推進事業

● 避難した方の帰還を支援します

担当課 放射能対策課

1,195 万円

【目 的】

放射能への不安から、県外及び県内他市町村に避難している方に、復興に向けた取組や健康管理等の取組を情報提供するなど、帰還に向けて取り組みます。

【前年実績】

相談窓口開設日数 月あたり 8 日

現地交流会開催回数 各窓口とも 3 回

【実施内容】

- 月 1 回、市政だよりなどを避難先に発送します。
- 数多く避難している山形市、米沢市、新潟市に、相談窓口を設置して、避難者相談と現地交流会を実施。
- 県外避難から戻った母子等を対象に、「パパ・ママさろん」を開設して、帰還者同士の交流の場とします。また、自主的サロンの運営グループに補助金を交付します。
- 他市町村から伊達市内に避難している方を対象に、住宅、就労等相談事業を実施して定住を支援します。



伊達市避難者相談窓口現地交流会（米沢市）

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	92	1,103

外部被ばく検査事業

● ガラスバッジを配布して、外部被ばく量を引き続き測定します

担当課 健康推進課

1 億 7,085 万円

【目 的】

健康不安の解消と安心の確保のため、個人積算線量計（ガラスバッジ）により外部被ばく線量を測定します。

【実施内容】

3ヶ月間を1サイクルとして、ガラスバッジを郵送して測定を実施します。

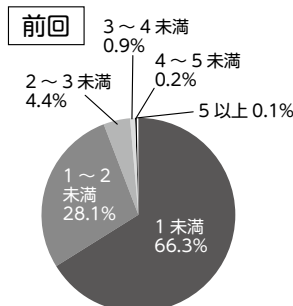
（対象者）

子ども、妊婦、Aエリア、無作為抽出者、希望者

（集計分析）

ガラスバッジ測定結果分析を業務委託し、エリア別・地区別・年齢別等の集計・分析を行います。

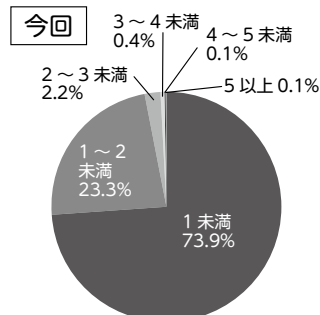
平成 24 年 7 月～平成 25 年 6 月



年間追加被ばく線量 (mSv)

■ 1 未満
■ 1～2 未満
■ 2～3 未満
■ 3～4 未満
■ 4～5 未満
□ 5 以上

平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月



線量別の人数分布

【前年実績】

○ 26 年度測定者 約 16,000 人

測定結果の集計分析では、各エリア別、地区別、年齢別ともに、前年から減少していることがわかりました。

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	5,072	1 億 2,013

内部被ばく検査事業

● 全市民がホールボディカウンタで検査を受ける体制を維持します

担当課 健康推進課

6,868 万円

【目 的】

健康不安の解消と安心の確保のため、ホールボディカウンタ（WBC）により内部被ばく線量を測定します。

【実施内容】

年間を通じて、検査機関での検査を実施します。

小中学生については、年 1 回学校から検査機関までの送迎バスにより、検査を実施します。

また、内部被ばくへの不安解消のため複数回の受検も可能とします。

（対象者）

1 歳以上の約 63,000 人

【前年実績】

○ 26 年度受検者 約 12,000 人

測定結果、受検者全員が預託実効線量 1 mS V 未満。



測定風景

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	6,848	20

心と体の健康管理事業

● 放射線に対する不安の解消やストレスの緩和をサポートします

担当課 健康推進課

1,657 万円

【目 的】

放射線の健康不安を感じている市民に対して、不安の解消や、ストレスの緩和など、きめ細やかな支援を行います。

【実施内容】

放射能Q & A 講話

…放射能の正しい知識を啓発します。

放射能健康相談窓口

…放射能からの不安解消等の個別相談をします。
(事前予約)

元気アップ復興隊 (心と体のケアチーム) による支援活動

…専門スタッフによる個別支援を実施します。
…地域支援として、お茶のみ会を実施する中で、健康相談やストレス解消講話等を行います。
…母子支援として、育児相談や親子遊びを行います。

すこやか運動教室

…児童の肥満対策のため、運動を推進します。

自主避難者支援

…健康相談会を実施します。帰還者への支援も行います。

【前年実績】

放射能Q & A 講話 (17 回) 放射能健康相談 (48 回)

お茶のみ会 (52 回) 心理相談 (42 回)

すこやか運動教室 (110 回) 自主避難者支援 (4 回)



お茶のみ会

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	183	1,474

こどもリフレッシュ事業

● 自然の中でのびのび遊んでリフレッシュ！

担当課 教育総務課

1,769 万円

【目 的】

東日本大震災の影響によるストレスから、心身ともにリラックスさせるため、夏休みや冬休みなどを利用して、自然体験活動や交流活動などの宿泊体験事業を行います。

【野辺山学園サマーキャンプ事業】

野辺山学園 (長野県南牧村：東京都大田区所有施設) で、サマーキャンプを行います。

①開催時期

8月4日～8月7日

②募集対象

小学生4年生～6年生 (200 人)

【会津高原キャンプ】

①開催時期

夏休み1回、冬休み1回

②募集対象

小学生、未就学児とその保護者 各回 100 人

③ふくしまっ子体験活動応援補助事業 (福島県補助金)

【NPOなど活動支援補助金交付事業】

NPOなどの支援団体が企画するキャンプへ参加する団体に補助金を交付し支援を行います。



牧場で動物とふれあう体験 (長野県)

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担	その他
	1,406	263	100

スタディキャンプサポート事業

● 市外の学校と交流を通して、たくましく生きる力を育成します

担当課 学校教育課

373 万円

【目 的】

様々な交流や体験を通して、児童に社会的自立と行動力を養い、たくましく生きる力を育成することをねらいとして、新潟県見附市と千葉県南房総市で移動教室を行います。

【実施内容】

- ①新潟県見附市、千葉県南房総市の学校との交流
- ②新潟県見附市、千葉県南房総市での様々な体験学習
- ③参加校
 - 新潟県見附市・・・山舟生小・白根小
 - 千葉県南房総市・・・伊達東小



見附市児童との合同授業（音楽）

【前年実績】

- ①参加校
 - 新潟県見附市・・・富成小・堰本小・伊達東小
 - 山形県河北町・・・月舘小
 - 神奈川県川崎市・・・保原小・伊達小

財源（万円）

市の負担
373

放射線教育推進事業

● 放射線の正しい知識について理解を深めます

担当課 学校教育課

11 万円

【目 的】

児童生徒が、放射線の正しい知識と身を守る方法について理解を深めるために、放射線教育を行います。

【実施内容】

小中学校において、放射線学習を行うための学習キットを補充購入し実験をするとともに、平成 25 年度作成した放射線教育副読本を授業で活用し、理解を深めます。

【前年実績】

各小・中学校では、全学級の学級活動で年間 3 時間、さらに総合学習や理科等にも位置付け放射線学習を充実してきました。また、本事業で準備した霧箱セットで放射線の飛跡を観察することにより、放射線に対する知識の理解に深く結びつきました。

財源（万円）

市の負担
11

3-3 絆を強め新たな産業力の創出

風評被害対策事業

● 伊達市の農産物を PR し、消費拡大につなげます

担当課 農政課

1,349 万円

【目 的】

放射能による農作物の風評被害払拭を継続していくとともに市の基盤産業である農業復興のための対策を行います。

【実施内容】

- 伊達マルシェの開催
 - ・県外の消費者を対象としたマルシェ（市場）を定期的に開催し、市農産物の安全性を直接伝え、新たな消費地への販路拡大を図ります。
- 伊達市応援隊運営事業
 - ・全国から伊達市を応援していただく「伊達市応援隊」事業を継続して行います。
 - ・応援隊の方には、「伊達まほろば通信」を年 4 回送付し、市の P R 及び販路拡大を図ります。（応援隊員数 560 名）
- 情報発信事業
 - ・伊達市農産物ホームページで情報発信を行います。（<http://genki-date.jp/>）
 - ・農産物の P R 支援事業を行います。ももやあんぽ柿の生産出荷時期にあわせ、県外の消

費者に伊達市産農産物の魅力発信や物産 P R を行い風評被害の払拭を図ります。

【前年実績】

＜伊達マルシェ＞

東京・横浜市・札幌市において農産物 PR イベント実施

＜応援隊＞

平成 26 年度 応援隊 129 名 加入



東京アンテナショップでの農産物 P R

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	849	500

ふくしまの恵み安全安心推進事業

● 販売用農産物の自主検査を行い、農産物の安心安全を提供します

担当課 農政課

104 万円

【目 的】

消費者が農産物に対する不安を解消し、安心して購入できるように出荷用農産物の放射能モニタリング検査を行います。

【実施内容】

放射性物質簡易測定機器の校正費用を助成します。

- 検査会場 -

- 伊達駅なかプラザ 080-1805-6583
- みらい百彩館 んめ〜べ 080-2838-7267
- 直売所 かぼちゃ 080-2843-8301

【前年実績】

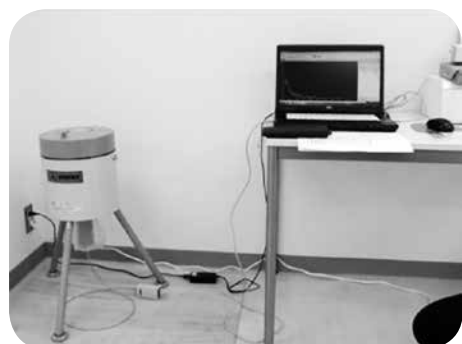
平成 26 年度検査状況

○伊達駅なかプラザ 243 件

○みらい百彩館 んめ〜べ 2,217 件

○直売所 かぼちゃ 163 件

（平成 27 年 2 月 28 日現在）



放射性物質簡易測定機器

財源（万円）	市の負担
	104

だての魅力発見・第二のふるさとづくり事業

● 自然豊かな伊達市農産物を満喫しよう

担当課 総合政策課

230 万円

【目 的】

首都圏に住む若者等を対象に、ふるさとの豊かさを知ってもらい、伊達市の魅力発見と第二のふるさとづくりを行います。

【実施内容】

平成 27 年度は、食や農業に関心のある首都圏の学生等を対象に、農産物生産者との交流や農業体験を行うとともに、この事業を通じて、風評被害払拭のためのツアー企画を行います。



伊達の夏を感じる桃狩りツアー

財源（万円）	国・県の負担
	230

自家用農産物等安全推進事業

● 非破壊測定機でまると測って安心

担当課 農政課

5,852 万円

【目 的】

食品による内部被ばくへの健康不安に対応するため、市民が身近な場所で農産物の検査ができる体制を整備し、継続的にモニタリング調査を行います。

【実施内容】

市民から持ち込まれた自家用農産物を簡易型放射性物質測定機器で検査を行います。検査結果については広報紙、ホームページ等でお知らせします。

- 検査会場 -

- 伊達地域放射能相談センター（伊達総合支所）080-2835-0352
- 伊達市放射能相談センター（保原市民プール）080-2835-3003
- 富成地区交流館 080-2835-8218
- 梁川地域放射能相談センター（梁川総合支所）080-2836-0318
- 霊山地域放射能相談センター（霊山総合支所）080-2840-3080
- 霊山地区交流館 080-9255-3125
- 小国地区交流館 080-9255-3126
- 石戸地区交流館 080-2840-7207
- 月館地域放射能相談センター（月館総合支所）080-2840-7791

【前年実績】

平成 26 年度検査状況

伊達地域 432 件 保原地域 1,456 件 梁川地域 874 件
 霊山地域 1,331 件 月館地域 612 件 合計 4,705 件
 （平成 27 年 2 月 28 日現在）



平成 26 年度に設置した非破壊式放射能測定装置

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,287	4,565